

## 巢湖・中廟

合肥市は中国の中部地域に位置する、人口 786.9 万人、面積 11,400 km<sup>2</sup>の安徽省の省都です。秦の時代には県が置かれ、2000 年以上の歴史があり、逍遙津（張遼が呉兵を破った場所）、教弩台（曹操が弩手の練兵をした場所）、斛兵塘遺址（曹操が魏の兵馬を数えた場所）などの三国時代の遺跡があるため、「三国故地」と呼ばれています。合肥市は、後漢末期の武将の周瑜、ノーベル物理学賞を受賞した物理学者の楊振寧などの出身地でもあります。合肥市は長江と淮河の間に位置し、中国五大淡水湖の一つである巢湖があります。巢湖の近くには半湯と湯池という二つの温泉があり、全国でも有名な「中国温泉の里」として人気があります。

## 世界の地域から 安徽省合肥市（中国）

### 中国科学技術大学先進技術研究院

合肥市は先端的な技術力と人材に恵まれた都市です。中国科学技術大学をはじめとする大学および専科学校が 50 校あり、62 万人の学生がいます。科学技術者は 70 万人、科学技術分野における最高研究機関である中国科学院・工程院に所属する院士（アカデミー会員）も 108 人います。特に、中国科学技術大学には国家放射光実験室、原子核および電子学国家重点実験室、安定強磁場科学センター、量子情報および量子科学技術先端共同イノベーションセンターなど、数多くの国家重点実験室があります。